

ミクシィ、本格始動した渋□区□中学校の「部活動改□」プロジェクトを□援

~「部活動の地域移図」を図指す渋図区の取り組みに、プログラミングやデザインなどクリエイティブスキルを 学べるコンテンツ提供で協図~

株式会社ミクシィ

2022年05月11日

株式会社ミクシィ(東京都渋⊠区、代表取締役社図:図村 弘毅)は、2022年4図より本格始動した渋⊠区 図中学校の部活動を地域企業・団体の協図を得て全校合同で図う同区の取り組み「シブヤ『部活動改図』 プロジェクト」において、昨年度の試験実施時に引き続き、コンテンツ提供や講師派遣などの図接を図います。9つの部活動のうちの図つ「デジタルクリエイティブ&e スポーツ部」において、テキストプログラミングに加えグラフィックデザインなど、当社のリソースを活図して新たに開発したクリエイティブスキルを学べるコンテンツを提供し、渋⊠区の部活動改図に協図します。



※昨年度、当社が実施した部活動の様∑

■「シブヤ『部活動改図』プロジェクト」への本格的参画について

学校における「働き図改図」推進の必要性の図まりや少図化による図徒数の減少により、図どもたちの部活動を教育現場だけで担うことは難しくなってきており、図部科学省では2023年度から「段階的に休図の部活動を地域に移図していく」という図針を打ち出しました。

渋⊠区ではこうした状況に対し、全国に先駆けて「シブヤ『部活動改図』プロジェクト」を図ち上げ、地域の企業・団体の協図を得て昨年11図より区図中学校8校の図徒が参加できる合同部活動の試験実施を図い、今年4図から本格的に活動を開始しました。

当社は2019年度より渋区区中学校におけるプログラミング教育区援を開始。2021年度は中学校における新学習指導要領の全区実施に対応し、「技術・家庭科<情報分野>」の授業にて情報とプログラミングの技術を盛り込んだカリキュラムを新たに開発、全校で授業区援を実施しました。このほか、渋区区内の区部私区中学校に対しても区援を区っています。

当社はこうした取り組みをもとに、昨年11図から試験実施された「シブヤ『部活動改図』プロジェクト」に協図し、合同の部活動「パソコン部」においてテキストプログラミングの講座提供や講師派遣を図いました。今年度からの本格始動においては、当社の強みを図かした図接をさらに拡図し、地域社会へ貢献してまいります。

■今年度の具体的な図援内容

今年度、当社が⊠援するのは昨年度実施していた「パソコン部」から名称を変更して⊠う「デジタルクリエイティブ&e スポーツ部」です。この部では、当社を含む渋⊠区内の企業3社が持ち回りでコンテンツを提供します。当社は年間活動図の半数にあたる「デジタルクリエイティブ」の領域を担当。プログラミングに加えデザインが学べるコンテンツも新たに開発し、当社社員を講師とした部活動を年間を通して展開します。

<実施概要(予定)>

【コンテンツ】

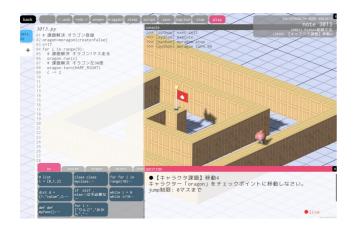
①テキストプログラミング練習講座とゲーム制作

初めてでも楽しめるオリジナルソフトウェアとテキストプログラミング⊠語を使って課題やゲーム作りにチャレンジします。



②Pythonプログラミング実践と課題解決

プログラミング⊠語「Python」をオリジナルソフトウェアと講義で習得し課題をクリアしていきます。作品づくりを通して、⊠語を楽しく⊠につけることができます。



③会話AI ロボット「Romi」との会話をプログラミング!

プログラミングツール「Romi シナリオエディター」を使ってミクシィが開発する会話AI ロボット「Romi」との会話をプログラミングすることができます。



④グラフィックで伝えるデザインを体感しよう!

デザイン素材をパズルのように⊠きくしたり⊠さくしたり回転させたりして図的に沿ったポスターをデザインすることができます。

⑤情報を伝えるコンテンツをデザインしてみよう!

ウェブサイト等で、どんなボタン配置にすれば使う⊠が使いやすくなるのか、デザインを通して体感することができます。

【図程 ※上期内】

2022年5 218 20 29 までの毎週 20 218:00 ~ 18:00

※①、②、③のいずれかを実施

※④、⑤については、下期(2022年11⊠以降)に実施予定

【会場】

ミクシィ本社(東京都渋⊠区渋⊠2-24-12 渋⊠スクランブルスクエア36F)

【参加図徒数】

20~30名程度

【実施概要詳細】

https://shibuyaunited.tokyo/information_computer/

当社では今年度、サステナビリティ活動の

図環として本プロジェクトへの参画のほか、従来より実施している渋

図区内の

図部私

図中学校へのプログラミングに関する新たなコンテンツ提供など、当社リソースを活図した幅広い

IT教育

援を実施してまいります。